

公演情報 会場 KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

2026年10月10日[土]ー11月1日[日]

10月																	11月					
10 土	11 日	12 月・祝	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土	1 日
	14:00	14:00	休演	14:00		14:00	14:00	14:00	14:00	休演		14:00	14:00	13:00 ♡	13:00 ♡		休演		14:00		13:00	13:00
18:00		◎			18:00		◎♡	♡			18:00					◎		18:00		◎		

受付開始は開演の60分前、開場は開演の45分前

上演時間：3時間15分（予定 / 途中休憩あり）

*本公演では飲食物の販売がございます。客席にて飲食可能です（持ち込みは不可）。

全公演、終演後バックステージツアーあり

◎＝託児サービスあり 公演1週間前までに要予約・有料。対象日以外のご利用もお問い合わせください（ご予約・お問い合わせ：マザーズ 0120-788-222）。

鑑賞サポート 要事前申込

♡＝音声ガイド（10月17日、18日）、字幕機器の貸出（10月24日、25日）→

全公演、聴覚支援機器（オーラキャスト）、上演台本の貸出あり

*鑑賞サポートの申込・詳細は、公演ホームページをご覧ください。

申込はこちら



チケット料金（入場順整理番号つき自由席）

一般 6,500 円 / 神奈川県民割引（在勤・在住） 5,800 円 / U24 チケット（24 歳以下） 3,200 円

高校生以下割引 1,000 円 / シルバー割引（満65歳以上） 5,800 円 / 障がい者割引 5,800 円

*神奈川県民割引はチケットかながわにて取扱い（前売のみ、枚数限定、要住所確認）。

*障がい者、U24、高校生以下、シルバー割引はチケットかながわにて取扱い（前売のみ、枚数限定、要証明書）。

*車椅子、ほじょ犬同伴でご来場の方は購入前にチケットかながわにお問い合わせください。

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*営利目的の転売禁止。

*公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

*ご入場は開場時間より、チケットに記載されている整理番号順にご案内いたします。

*開演後のご入場はお待ちいただく場合がございます。

（KAAT メインシーズパスポート対象作品）

【チケット発売日】

一般発売 8月1日(土) / KAme（かながわメンバーズ）先行発売 7月25日(土)

【チケット取扱い・お問い合わせ】

▶チケットかながわ

<https://www.kaat.jp/>

0570-015-415（10:00～18:00）

窓口：KAAT 神奈川芸術劇場 2階（10:00～18:00）

▶チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>（Pコード：543-351）

▶イープラス

<https://eplus.jp/>

▶ローソンチケット

<https://l-tike.com/>（Lコード：35652）

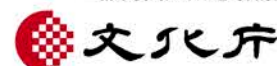
主催・企画制作：KAAT 神奈川芸術劇場

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会、

一般財団法人地域創造



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

神奈川文化プログラム



かながわ祭
県民文化祭



公式サイト：

<https://www.kaat.jp/d/jungle2026>

本作品は、2026年度メインシーズンのテーマ

「なぜ人は線を引くのか —
Why do people draw the lines?」

3作品のうちの1作です。

越えたくても越えられぬ国境を前に、
異なる言語、文化、宗教を持つ人々が
集まる難民キャンプ「ジャングル」。
この混沌を前に、境界を問います。

KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281

TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691

<https://www.kaat.jp>

●みなとみらい線：

日本大通り駅から徒歩約5分。元町・中華街駅から徒歩約8分。

●JR根岸線：関内駅または石川町駅から徒歩14分。

●市営地下鉄：関内駅から徒歩14分。

●市営バス：芸術劇場・NHK前すぐ。

横浜駅前東口バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)

桜木町駅前バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)

*上記のりばから乗車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を過ぎます。

●神奈川芸術劇場有料駐車場(65台)もご利用下さい。

指定管理者：(公財)神奈川芸術文化財団



KAAT × 阿佐ヶ谷スパイダース



作：ジョー・マーフィー & ジョー・ロバートソン

翻訳：小田島 創志 演出：長塚圭史 音楽：阿部 海太郎

「場所」はいつ「居場所」になるのでしょうか

カレーの街に集まった 8,000 人を超える難民たち

彼らは何を願ったか



2026年
10月10日[土]ー11月1日[日]
KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

KAAT 2026-27 メインシーズン

「なぜ人は線を引くのか」テーマ作品

KAAT

KANAGAWA ARTS THEATRE

フランス北部・カレーにある難民キャンプ「ジャングル」。 国境を越え、居場所を求める人々の行きつく先は——

2015年。中東、アフリカ、アジアなど世界各地から逃れてきた移民や難民が集まり、難民キャンプがつけられた。通称「ジャングル」。難民たちはみな、時に命の危険を冒してまでもドーバー海峡を渡りイギリスにたどり着くことを目指している。しかし異なる言語、文化、宗教を持つ人々が、劣悪なキャンプの環境の下、共に生活するのは困難を極める。それでも同じ目的に向かって、時には衝突しながらも、助け合い、生き抜こうとする。それぞれの居場所を求め続け、行きつく先は——

本作は移民・難民問題、そして社会に広がる“分断”を英国気鋭の劇作家コンビ、ジョー・マーフィーとジョー・ロバートソンが半年間に渡るキャンプ地滞在を元に鮮烈に描き出し、世界各地で大きな注目を集めた作品です。KAAT神奈川芸術劇場と劇団・阿佐ヶ谷スパイダース、そして公募によって集まった神奈川県民、愛称“かなクル”が、KAAT神奈川芸術劇場芸術監督である長塚圭史の演出でお送りします。

本作は作品世界に没入いただけるように大スタジオに特設客席を設置。
さらに会場内では飲食物などの販売も行います。
あらゆる角度から、作品世界を存分にお楽しみください。

「ジャングル」とは

ドーバー海峡に面したフランス北部の港町・カレーで、2015年初頭から2016年10月まで実在した難民キャンプ。一度難民申請を出してしまうと他の国では申請ができないため、より待遇のよい国であるといわれるイギリスへ渡航を目指す移民・難民の人々が一時的に滞在していた。時に8,000人以上もの人々が生活を送っていたが、治安・衛生・人道上の理由から、フランス政府が2016年10月にキャンプを完全撤去した。しかし、現在もカレー周辺には数千人規模の移民・難民が点在している。



KAAT × 阿佐ヶ谷スパイダース

ジャングル

作：ジョー・マーフィー & ジョー・ロバートソン

翻訳：小田島 創志

演出：長塚 圭史

音楽：阿部 海太郎

出演：

坂本慶介 藤間 爽子

大久保 祥太郎 森 一生 李 千鶴

板崎 泰帆 内間 遼 すやま あきら
西山 斗真 松本庵路 宮崎 柊太

志甫 まゆ子 内藤 ゆき 足立 昂大（日替わり出演）
金栗 帆香 城山 凜夏（子役／Wキャスト）

平木 幹太 村田 亘将 依田 光正

伊達 暁 中村 まこと 中山 祐一朗

千葉 雅子

演奏：

アミリ 健 アルヴィン 古燈 直人

舞台美術：片平 圭衣子
照明：北澤 真
音響：徳久 礼子
衣装：柿野 彩
ヘアメイク：河村 陽子
ステージング：香取 直登
演出助手：中村 未希、木村 美月
舞台監督：鈴木 章友

舞台進行：村山 鈴夏
演出部：桂川 裕行、小山 梨花、佐藤 昭子
照明操作：北上 舞奈
音響操作：常田 千晴
大道具製作：鈴木 太朗
小道具指導：雲田 恵

記録撮影：端 佑士
メイキング映像：松本 庵路

字幕ガイド制作：南部 充央
音声ガイド制作：清水 あいみ

阿佐ヶ谷スパイダース：
唐崎 修、佐々木 梓、城野 淳子、牧 梨恵子、松本 梨花

かなクル（県民スタッフ）：
浅井 優衣子、安部 裕一、
池田 帆乃歌、和泉 輪、板垣 悦子、
犬飼 裕一、梅宮 さおり、浦田 亜紀奈、
大出 菜央、大沼 牧、小笠原 美香、奥野 仁美、
小林 三保、鈴木 玲子、SHOW、大門 碧、
椿 和恵、テイレイ、nainailolo、永峯 美保、
中村 紗矢香、野中 哲、馬 淑華、松浦 大樹、
松本 育子、森 耕平、渡辺 香

宣伝美術：GOO CHOKI PAR

芸術監督：長塚 圭史

KAAT × 阿佐ヶ谷スパイダース × 神奈川県民

さまざまな国から、異なる言語、文化、宗教を持つ人々が集まり、共に生活を送っていた難民キャンプ「ジャングル」。この多様な人々の物語を、年齢や職種などバックボーンが異なるメンバーで構成された劇団・阿佐ヶ谷スパイダース、公募で集まった熱意溢れる32名の神奈川県民（愛称：かなクル）がKAATと共に創作します。舞台上に登場する俳優たちと一緒に観客も「ジャングル」を体感できるように、会場に臨場感あふれる客席を特設。難民問題を遠い地域での出来事として捉えるのではなく、身近な課題として向き合います。